

めざせ！ ゼロカーボンシティ

身近なことから
始めよう

エコ活マップ

区は2022年2月に、2050年のCO₂(二酸化炭素)排出量を実質ゼロとするゼロカーボン(脱炭素)シティの実現を目指すことを表明しました。

一人一人のちょっとした行動も、積み重ねることでゼロカーボンに近づく大きな力となります。普段の暮らしの中で、無理なくできることを見つけて実行しましょう。

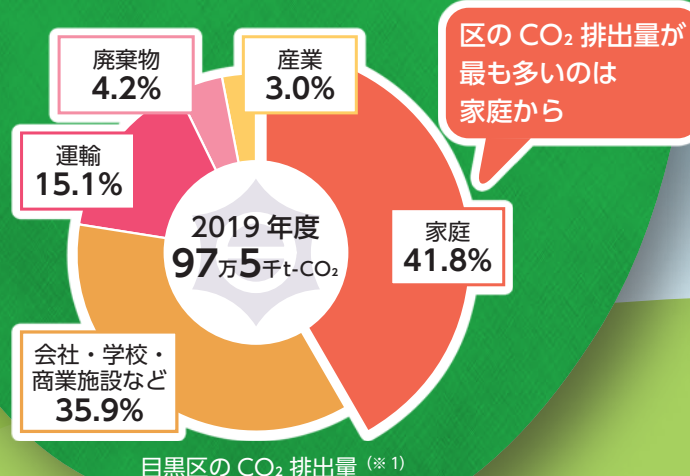
環境保全課温暖化対策係 ☎5722-9034、☎5722-9401

★印の数で取り組みの難易度を表しています

なぜCO₂削減が必要なの？

地球温暖化による気候変動は、海面水位の変化や洪水・干ばつを引き起こし、生物の生態系、食料、健康など私たちの生活や自然にさまざまな影響を与えています。これを止めるには、私たちの生活で生じているCO₂の排出量を削減することが重要です。なぜなら、日本が排出する温室効果ガスのうちCO₂が全体の排出量の約91%を占めているからです(4年度版環境白書)。

区のCO₂排出量は年間97万5千t-CO₂で、電気やガスなどのエネルギー消費が主な要因です。その約4割が家庭からの排出です。私たちが生活を見直して環境負荷を軽くしていくことで、地球環境を守ることができます。それだけでなく、経済的にも快適で豊かな暮らしにつながるかもしれません。



環境基本計画を改定しました

区は、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて3月に環境基本計画を改定し、5つの基本方針を掲げています。詳細は区HP(コード⑧)をご覧ください。

- 基本方針 1 レジリエントなまち カーボンニュートラルの未来をつくる
- 基本方針 2 資源が循環するまち ものを大切に資源が循環する未来をつくる
- 基本方針 3 みど里を感じるまち 身近なみど里をはぐくみ、みど里豊かな未来をつくる
- 基本方針 4 快適に暮らせるまち 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る
- 基本方針 5 パートナリシップで取り組むまち みんなが環境を知り、学び、行動する未来をつくる

Q1 電気

区のエネルギー消費量は家庭が最も多く、44%を占めています。相関関係にあるCO₂排出量も、区全体の約42%が家庭から(※1)。

どう減らす？

32型液晶テレビの場合、明るさを最大から中間に変えると年間約**13.3kg**のCO₂を削減(※2)

テレビは画面を明るくし過ぎないように設定する

温水便座は、便座や温水の温度を下げ、使用しない時はフタを閉める

温水便座は、家庭の電気使用量の約**5%**と意外に多い(※2)

太陽光発電や蓄電池などを設置する

5年度は6月から申請受け付け

太陽光発電・家庭用燃料電池・家庭用蓄電システムなどの助成を行っています。詳細は6月に区報や区HPでお知らせします

Q2 食品

本来食べられるのに捨ててしまう食品ロスも、CO₂排出の大きな原因。2020年の国内の食品廃棄量約522万tのうち、約50%は家庭から(※3)。

どう減らす？

余った食材を使ったカレーなどを紹介しています。詳細は区HP(コード②)へ

残った料理や野菜の皮などはリメイク料理でおいしく食べきる

使いきれの量の食材を購入し、人数分を調理する

バラ売りや量り売り、量の調整ができるめぐる食べきり協力店があります。詳細は区HP(コード①)へ



リユース(リサイクル)ショップ情報を区HP(コード⑤)でご覧になれます

着ない服は、フリマアプリやリサイクルショップへ

国内で焼却・埋め立てられている衣服の総量は、1日当たり大型トラック**130台**分(※6)

Q4 移動

車などを動かすために必要なガソリン等の化石燃料は大量のCO₂を排出します。

どう減らす？

再配達トラックから排出されるCO₂の量は年間約**25.4万t**(※7)

宅配便は再配達にならないように1回で受け取る

時間指定や宅配ボックス、置き配、コンビニや職場での受け取りなど、自分にあったものを利用

できるだけ徒歩や自転車、公共交通機関を使う

東急線は全線で、再生可能エネルギー由来の電力100%で運行

Q5 その他

CO₂削減のために環境にやさしい行動を。

どんなことしよう？

庭やベランダなどに植木や鉢植えを設ける

環境がテーマのイベントや学習会などに参加する

屋上・壁面緑化の助成もあります。詳細は区HP(コード⑥)へ

ゼロカーボンへの道はこれから続く

エコ活は、他にもまだまだあります。区HP(コード⑨)や都HP(コード⑩)、環境省HP(コード⑪)などで紹介しているので、できるだけたくさん実践して、ゼロカーボンシティを目指しましょう。